2025年9月期 第3四半期
決算補足資料

株式会社ミライロ（東証グロース：335A）

MIRAIRO

Copyright Mirairo Inc.

会社概要

1. 会社概要 p2

2. 2025年9月期　第3四半期決算ハイライト p9

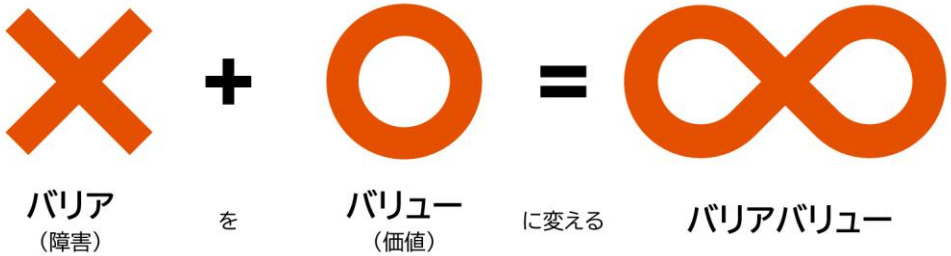
3. Appendix p22

Copyright Mirairo Inc.

ミライロについて①

代表取締役社長
垣内俊哉

企業理念



社　名	株式会社ミライロ
設　立	2010年6月
事　業	①障害者に向けたデジタルプラットフォーム「ミライロID」の運営 ②法人や自治体に向けたユニバーサルデザインのソリューション提供
拠　点	大阪本社（大阪市淀川区西中島三丁目8番15号） 東京支社（東京都品川区東五反田五丁目26番5号）

Copyright Mirairo Inc.

ミライロについて②

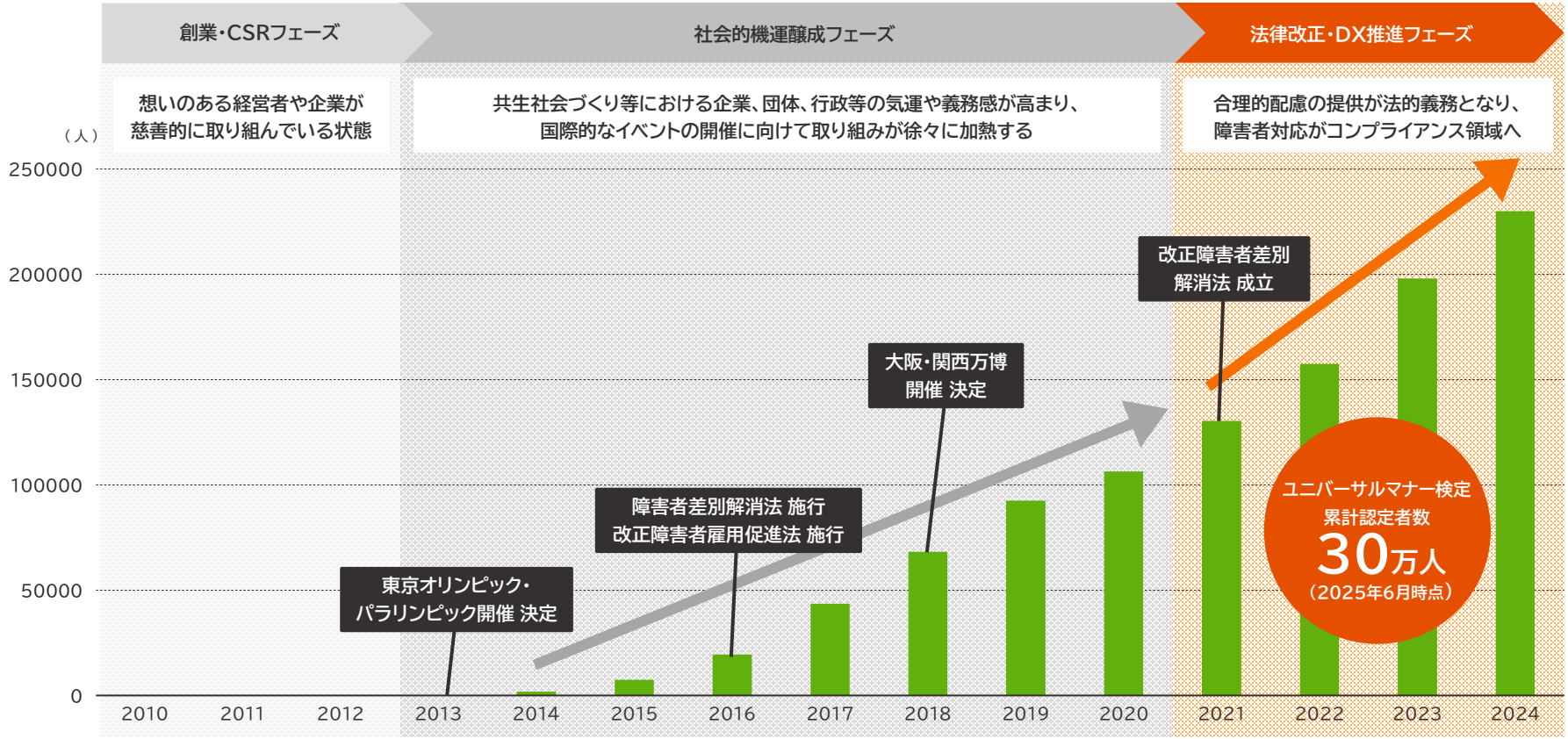
受賞歴	
2018年02月	Japan Venture Awards 2018 経済産業大臣賞 受賞
2018年02月	関西財界セミナー賞 2018 特別賞 受賞
2020年11月	J-Startup KANSAI 選定
2021年10月	デジタル社会推進賞
2022年01月	財界・経営者賞 受賞
2022年01月	経済界・金の卵発掘プロジェクト2021グランプリ 受賞
2022年10月	グッドデザイン賞 受賞
2022年11月	PRIDE指標　最高評価 ゴールド　6年連続受賞
2023年04月	知財功労賞　特許庁長官表彰 受賞
2023年06月	日本スタートアップ大賞2023　厚生労働大臣賞　受賞

関連団体
一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（ユニバーサルマナー検定の認定）
民間事業者による合理的配慮推進委員会（運営事務局）

主な株主（五十音順）
大阪市高速電気軌道株式会社
花王株式会社
京王電鉄株式会社
さくらインターネット株式会社
住友林業株式会社
西武鉄道株式会社
株式会社ゼンリンデータコム
東京海上日動火災保険株式会社
日本生命保険相互会社
三菱地所株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
ヤマトホールディングス株式会社

Copyright Mirairo Inc.

ミライロについて③



Copyright Mirairo Inc.

ミライロが取り組む社会課題

環境のバリア

建物や設備・製品における課題

意識のバリア

障害理解における課題

情報のバリア

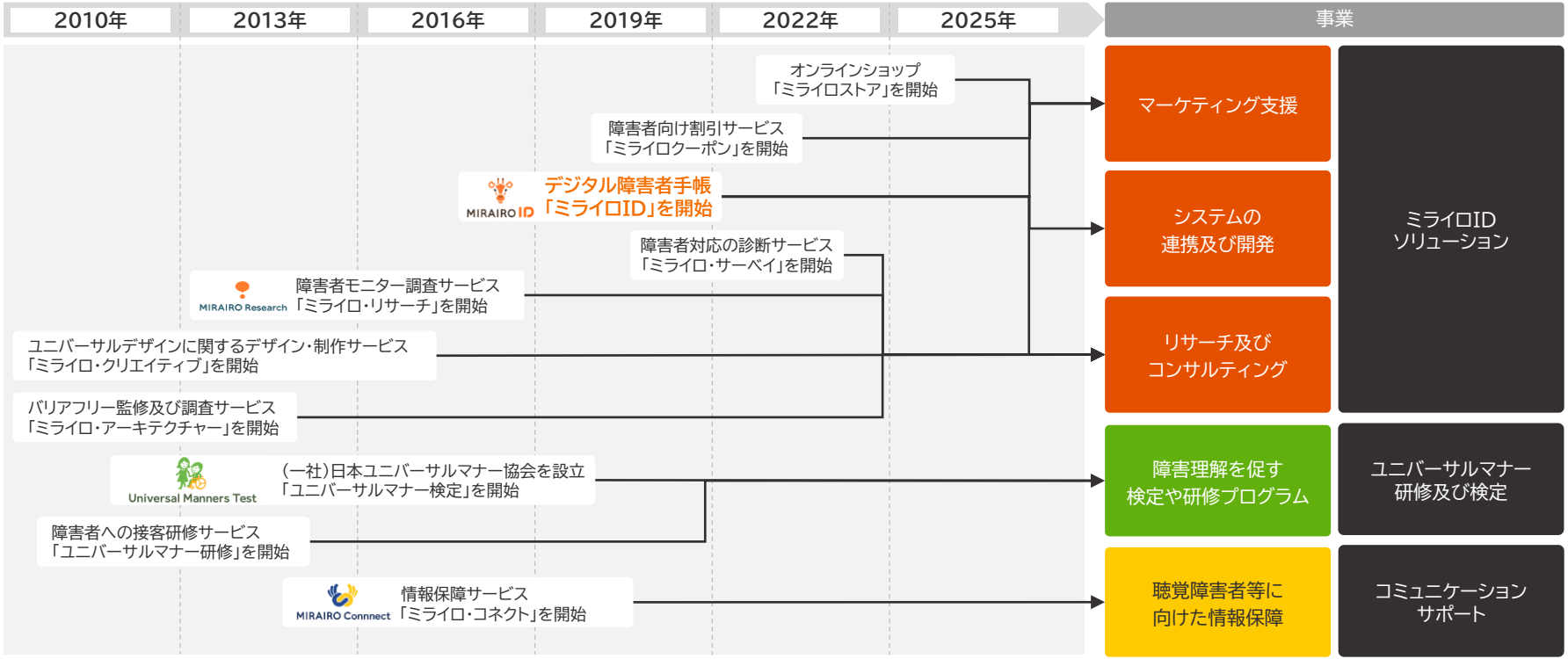
情報の取得や意思疎通における課題

社会に存在する「環境・意識・情報」のバリアを解消し、価値に変える

Copyright Mirairo Inc.

ソリューションの変遷

創業以降、障害のある当事者視点を活かし、環境、意識、情報のバリア解消に繋がるソリューションを生み出し続ける。
ミライロIDをリリース後は、障害者プラットフォームを活かした事業モデルに集約を進め、より高付加価値な事業に変化。



Copyright Mirairo Inc.

ソリューションの特徴と価値

障害のある顧客や従業員の対応など、社会的なバリアの解消に向けた複合的なソリューションを保有。
ミライロIDによる障害者プラットフォームを軸に、専門的知見やシステムも駆使することで高い限界利益率を実現。

事業		特徴	提供価値
ミライロID ソリューション	マーケティング支援	• 障害者プラットフォームへの広告やクーポンの配信、製品の販売などが可能 • クローズドマーケットに対して、独自の割引設定やパーソナルデータを活かしたアプローチが可能	• 企業姿勢の発信やブランディング • 潜在的な市場や顧客の新規開拓・売上増
	システムの 連携及び開発	• デジタル化された障害者手帳情報を用いたAPI連携や連携に向けたシステム開発を実施 • 従来紙での対応が必須であった障害者情報の認証や割引対応、連携によるアプリ間送客も可能	• オペレーションコストの低減 • デジタルを用いた法令遵守対応
	リサーチ及び コンサルティング	• 国内最大規模の障害者データを活かした定量・定性的なリサーチやコンサルティングを実施 • 法定対応に対する現状把握のためのサーベイや環境整備に向けたコンサルティング対応	• 潜在的なニーズ把握 • 事前的改善措置 ※1(環境整備)への対応
ユニバーサルマナー 研修及び検定	障害理解を促す検定 や研修プログラム	• 障害理解において国内最多となる30万人の認定者数※2と高い満足度の検定プログラム • 業界特化型など独自のプログラムを開発 • eラーニングや現地派遣など多様な受講形式	• 行動変容によるCS向上や雇用率の改善 • 法令違反や風評被害等のリスク低減
コミュニケーション サポート	聴覚障害者等に 向けた情報保障	• 遠隔での手話通訳サービスや手話・文字通訳者の現地派遣など、多様な情報保障サービスを提供 • 専門性を有する多数の手話通訳者や文字通訳者が在籍	• 聴覚障害者の仕事のパフォーマンス向上 • 事前的改善措置 ※1(環境整備)への対応

※1 事前的改善措置とは、施設のバリアフリー化、意思表示やコミュニケーションを支援するためのサービスや人的支援、情報アクセシビリティの向上など、 環境の整備のことです。
※2 当社調べ。人数は2025年6月時点の累計認定者数。

Copyright Mirairo Inc.

2025年9月期 第3四半期決算ハイライト

1. 会社概要 p2

2. 2025年9月期 第3四半期決算ハイライト p9

3. Appendix p22

Copyright Mirairo Inc.

2025年9月期 第3四半期 業績ハイライト

2025年9月期 第3四半期(2024年10月～2025年6月)における実績。
各事業で着実に成長し、売上高、売上総利益、営業利益がいずれも過去最高を更新。

売上高	売上総利益	営業利益	四半期純利益
630百万円	419百万円	110百万円	53百万円
前年同期比 119.3%	前年同期比 124.9%	前年同期比 131.3%	前年同期比 42.5%

業績概要 トピックス

- 売上高、売上総利益、営業利益が過去最高を更新
- 四半期純利益は上場関連費用や税効果会計の影響により減益
- ヤマト運輸株式会社の配達員5.2万人に対して、ユニバーサルマナー検定を実施
- 大阪・関西万博での情報保障サービス、ミライロIDでの本人確認を提供

※2024年9月期(3Q累計)及び2025年9月期(3Q累計)に関しては、監査法人による監査及び監査レビューを受けておりません。

Copyright Mirairo Inc.

損益計算書（2025年9月期 第3四半期累計）

売上高は前期比で119.3%。売上総利益の増加に対して、販管費の増加が限定的なため、営業利益は前年比131.3%と着実に成長。

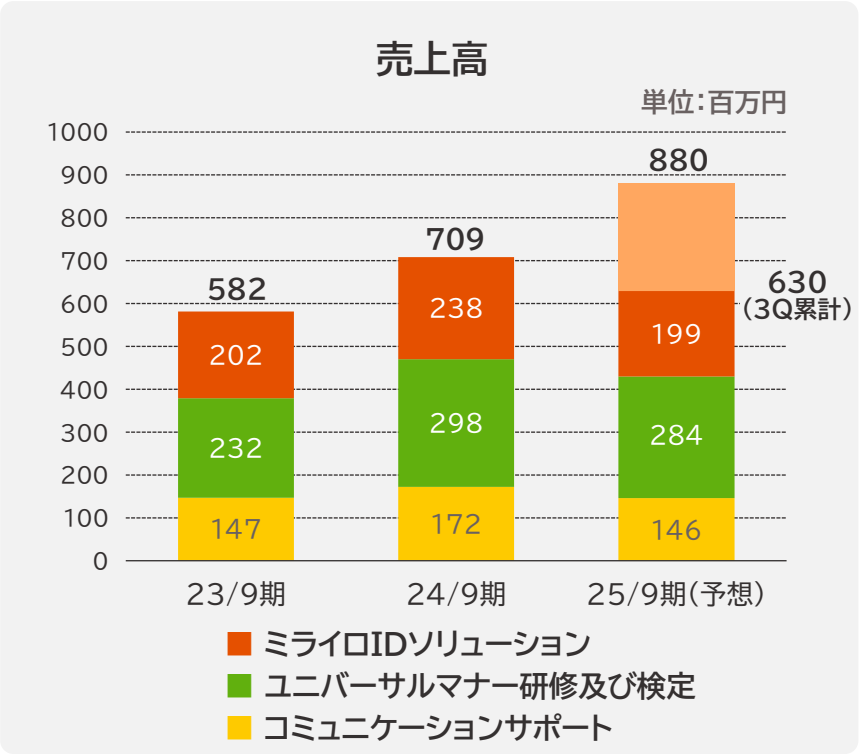
（単位：千円）	2024年9月期（3Q累計）		2025年9月期（3Q累計）		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	528,453	100.0%	630,334	100.0%	119.3%
ミライロIDソリューション	153,719	29.1%	199,603	31.7%	129.8%
ユニバーサルマナー研修及び検定	240,924	45.6%	284,331	45.1%	118.0%
コミュニケーションサポート	133,809	25.3%	146,400	23.2%	109.4%
売上原価	192,452	36.4%	210,775	33.4%	109.5%
売上総利益	336,000	63.6%	419,559	66.6%	124.9%
販売費及び一般管理費	252,088	47.7%	309,378	49.1%	122.7%
人件費	124,239	23.5%	149,853	23.8%	120.6%
営業利益	83,911	15.9%	110,180	17.5%	131.3%
経常利益	89,131	16.9%	87,036	13.8%	97.6%
四半期純利益	125,325	23.7%	53,216	8.4%	42.5%
EBITDA（営業利益＋減価償却費＋敷金償却）	104,330	19.7%	132,777	21.1%	127.3%

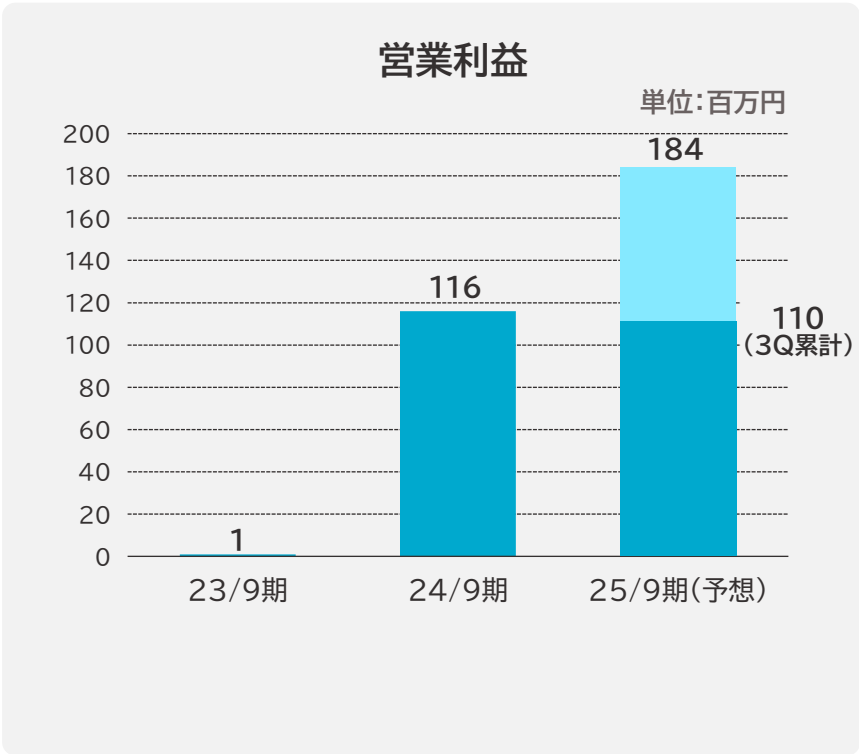
※2024年9月期（3Q累計）及び2025年9月期（3Q累計）に関しては、監査法人による監査及び監査レビューを受けておりません。

Copyright Mirairo Inc.

通期業績予想に対する進捗

第3四半期累計の売上高と営業利益は、通期予想に対して売上高は72%、営業利益は60%で進捗している。
第4四半期は、国際イベントに関連した案件及び新規案件のクロージングとコスト管理を徹底し、予算の達成を目指す。

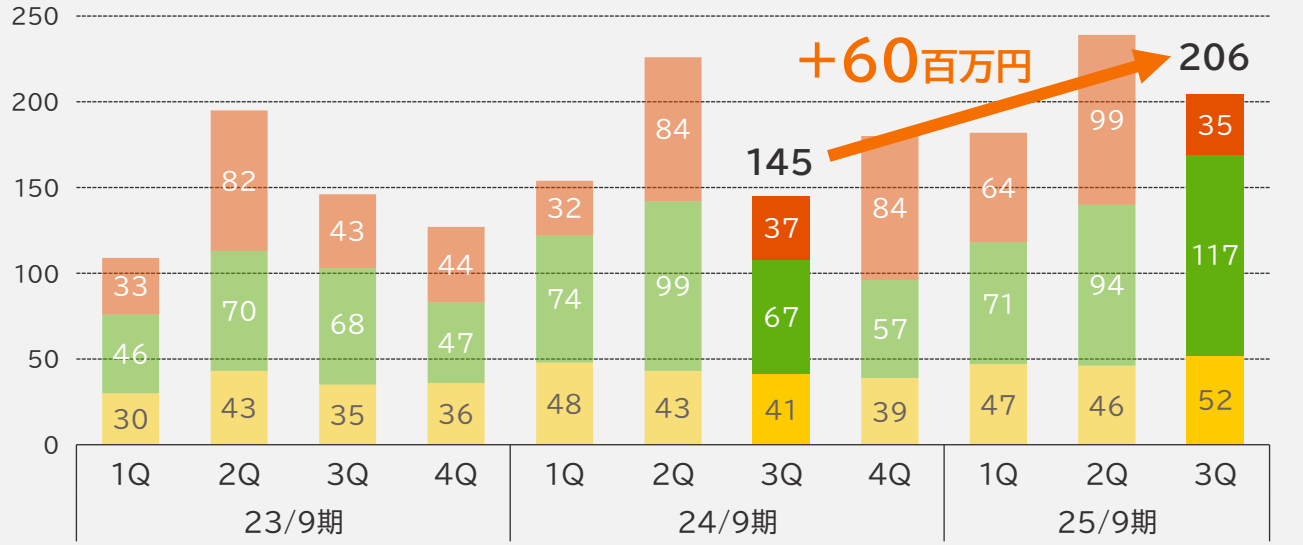




Copyright Mirairo Inc.

四半期ごとの業績推移

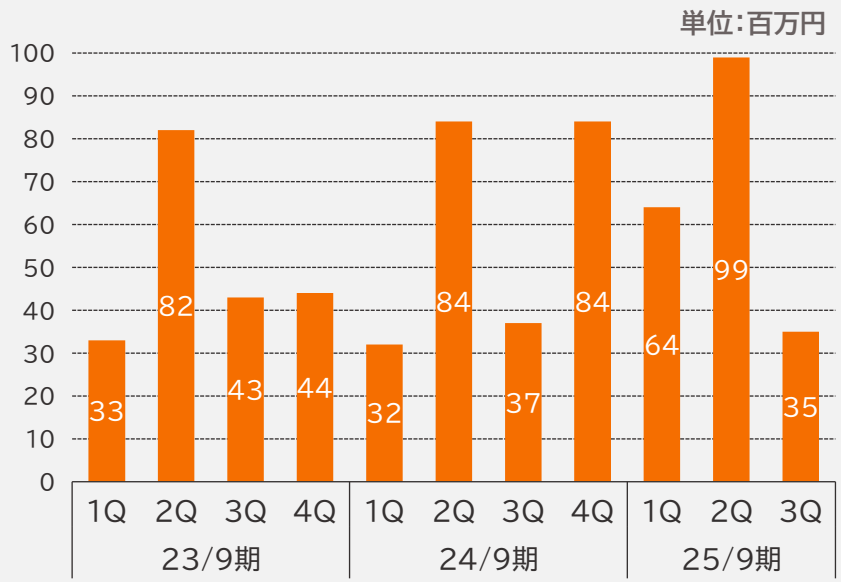
第3四半期単体では、ユニバーサルマナー研修及び検定事業での成長に起因して、前年比141.5%の着地。
ミライロIDソリューション事業は、第3四半期単体でリサーチ及びコンサルティングでの売上が予算未達となった影響で前年同水準。



Copyright Mirairo Inc.

ミライロIDソリューション事業

粗利率の高いマーケテイング支援は、第3四半期累計で前年比170%の成長。すでに過去最高の売上の達成が確実。
リサーチ及びコンサルティングは、新規案件の獲得が予算に届かない進捗となり、第3四半期累計で前年比119%の成長にとどまる。



■マーケティング支援
-第3四半期累計期間で、前年比170%と順調に推移
-人材向けの広告で強い引き合いが継続

■システムの連携及び開発
-第3四半期累計期間で、前年比123%と順調に推移
-駐車場精算機とのAPI連携数は184箇所

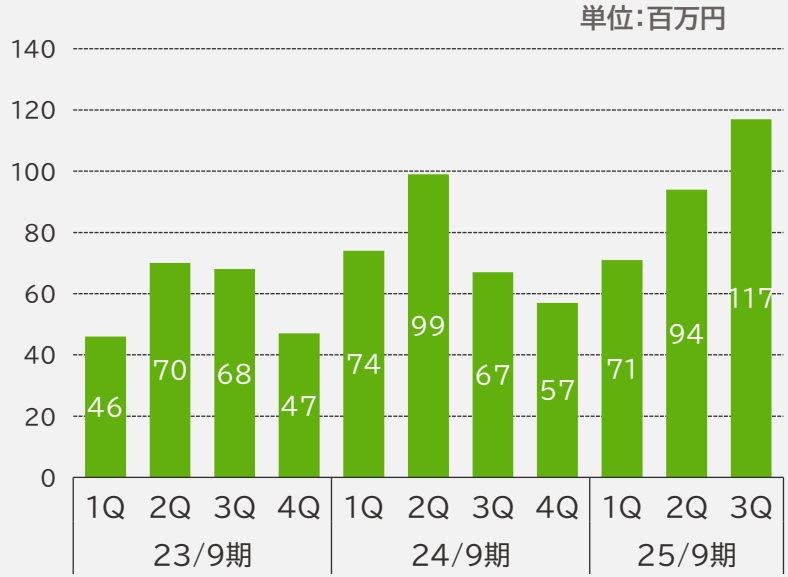
■リサーチ及びコンサルティング
-第3四半期累計期間で、前年比119%と成長
-新規案件獲得における課題が残り予算未達

■関連数値
-導入事業者数 :4,174事業者
-ユーザー数 :50.9万人
毎月約1万人のユーザー登録を持続

Copyright Mirairo Inc.

ユニバーサルマナー研修及び検定事業

第3四半期では、法人での大規模受講が積み上がり、単体で前年比174%、累計で前年比118%の売上を達成。



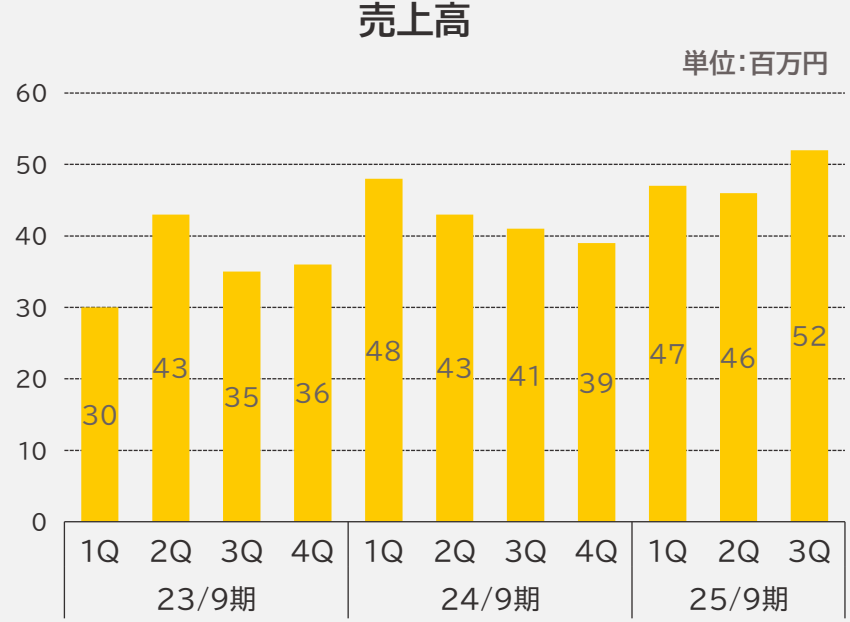
■売上高増加の要因
・ヤマト運輸株式会社にて、所属する配達員5.2万人がUM検定を受講。
・鉄道、物流、金融と各業界で先行企業からの横展開が加速。
・既存顧客のリピート率も高い水準を維持している。

■ユニバーサルマナー検定の認定者数
・2025年6月末で、30万人を突破し、市場環境の追い風を実感。

Copyright Mirairo Inc.

コミュニケーションサポート事業

障害者差別解消法の改正に伴う引き合いが増加し、第3四半期累計の売上高は前年比109%で順調に成長。
第4四半期においても、2025年11月に開催されるデフリンピックに向けて、関連イベントでの需要増を見込む。



■電話リレーサービス
-電話リレー法に基づく、電話リレーサービスを継続的に受注。

■手話通訳サービス
-デフリンピック開催に向けて、関係者のイベント開催が旺盛
-株主総会等の企業イベントでのニーズが増加

■文字通訳サービス
-帝国劇場での文字通訳を提供
上演された、帝国劇場 CONCERTの8公演において文字通訳を提供。

Copyright Mirairo Inc.

貸借対照表(2025年9月期 第3四半期会計期間末)

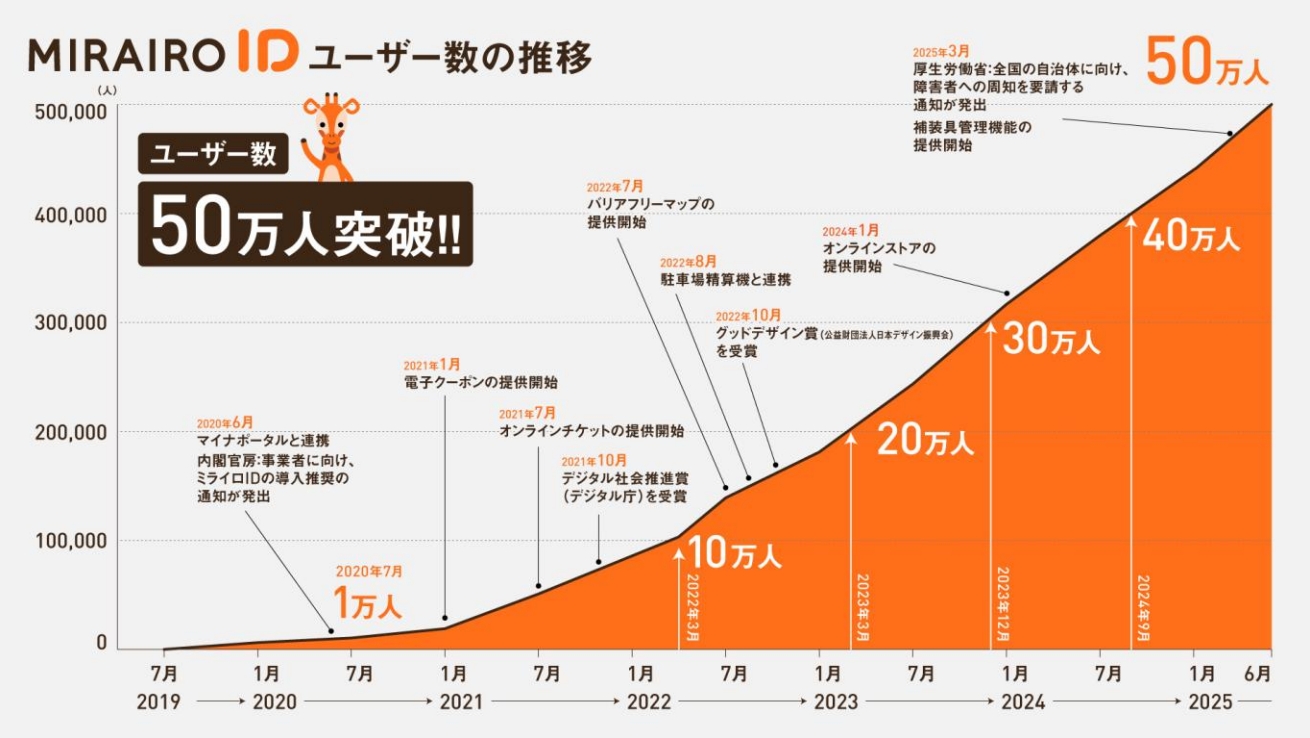
株式上場に伴う新株発行等により現金及び預金が450,602千円、純資産が513,438千円増加。
第3四半期において、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の返済を実行。合計した借入金の残高は、前期末比94,921千円の減少。

(単位:千円)	2024年9月期	構成比	2025年9月期(3Q)	構成比	前期末比増減
流動資産	538,854	76.9%	989,457	86.9%	+450,602
現金及び預金	421,763	60.2%	889,368	78.1%	+467,605
売掛金	86,541	12.4%	81,530	7.2%	△5,011
固定資産	161,963	23.1%	148,875	13.1%	△13,087
ソフトウェア	56,811	8.1%	72,265	6.4%	+15,454
繰延税金資産	58,465	8.3%	39,213	3.4%	△19,252
資産合計	700,818	100.0%	1,138,333	100.0%	+437,514
流動負債	232,559	33.2%	232,116	20.4%	△443
短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金	129.188	18.4%	109,748	9.6%	△19,440
固定負債	131,231	18.7%	55,750	4.9%	△75,480
長期借入金	130,446	18.6%	54,965	4.8%	△75,481
純資産	337,027	48.1%	850,466	74.7%	+513,438
負債・純資産合計	700,818	100.0%	1,138,333	100.0%	+437,514
(自己資本比率)	47.9%	-	74.7%	-	-

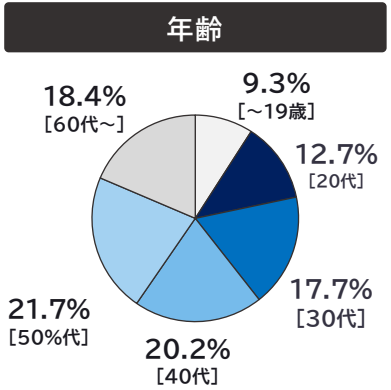
Copyright Mirairo Inc.

トピックス①「ミライロID」のユーザー数が50万人を突破

自然流入でユーザー数は50万人を突破。上場後に、月間の登録者数は増加基調となっている。
月間のアクティブユーザー比率も38.3%程度と高い利用率を継続。利用年齢も偏りがなく、安定してユーザーのサービス需要に対応。



■MAUの推移
-2024年12月:38.8%
-2025年3月 :36.6%
-2025年6月 :38.3%



Copyright Mirairo Inc.

トピックス②大阪・関西万博におけるミライロの取り組み

入場時の障害者手帳の確認書類として「ミライロID」が活用されています

MIRAIRO ID

2025年4月13日(日)から10月13日(月)までの184日間にわたって開催されている大阪・関西万博の本人確認書類として採用されております。
障害者手帳を保有している方のご入場に際して、入場時及び会場内での確認書類として、障害者手帳と同様に、マイナポータルと紐づいた「ミライロID」での提示確認が可能です。

ミライロが大阪・関西万博の運営参加に協力

大阪・関西万博において、タブレットやスマートフォンのビデオ通話を利用することで利用できる「遠隔による手話通訳サービス」の提供を行っております。本サービスを通して、コミュニケーションのバリアを軽減し、より多くの来場者の情報アクセシビリティを快適にすることを目指します。

Copyright Mirairo Inc.

トピックス③厚生労働省のHPで「ミライロID」がマイナンバー情報連携の事例として掲載されました

自治体も「ミライロID」の活用推進を後押し

令和7年3月14日に開催された社会保障審議会障害者部会の資料「マイナンバー情報連携に関する事例の障害当事者への状況提供について」にて、当社の運営する「ミライロID」がマイナンバー情報連携の事例として掲載されました。また、令和7年3月31日付けで、厚生労働省から都道府県、指定都市、中核市の障害保健福祉担当課に対し、障害当事者への情報提供を依頼する事務連絡（障害者手帳情報のマイナンバー連携の普及について）が発出されております。

※社会保障審議会障害者部会（第146回）の資料について
https://www.mhlw.go.jp/content/12201000/001442573.pdf

自治体の導入事業者数も継続的に増加

「ミライロID」を提示することで自治体の運営する施設や店舗にて、障害者割引が利用できる自治体の数は、着実に増加しており、2025年6月末時点で、300を超えております。

自治体での導入事例

本人確認書類

福祉のしおりへの掲載

駐車場精算機との連携

障害者登用駐車スペースのミライロID対応

障害者支援アプリとの連携

ユニバーサル自動ドアの導入

Copyright Mirairo Inc.

2025年9月期下半期の重点施策

ミライロIDのユーザー数の拡大

自治体への発信を強化することをとおして、障害者への認知拡大とユーザー数の増加を図る。

業種別の検定プログラムの展開

ユニバーサルマナー検定
ヤマトグループ オリジナル版

ユニバーサルマナー検定を基に、各業界に特化したコンテンツの構築と横展開を行う。

各業界での先進事例の創出

NIPPON EXPRESS　MIRAIRO

障害者雇用に関する業界毎の課題を把握し、解決に向けて伴走することで、新たな事例を創出。

ミライロID Global

MIRAIRO ID

国内の障害のある外国人旅行者の声を導入事業者を通して収集し、グローバル展開を見据えたサービス開発を実施。

Copyright Mirairo Inc.

Appendix

1. 会社概要 p2

2. 2025年9月期　第3四半期決算ハイライト p9

3. Appendix p22

Copyright Mirairo Inc.

障害者と社会を繋げるライフプラットフォーム「ミライロID」

障害者手帳を「紙」から「デジタル(ミライロID)」へ

障害者の移動や生活をもっと便利に、もっと自由に。

手帳代替 / 情報配信 / ECストア / クーポン / マップ / チケット / 情報連携

事業者の課題

292種類のフォーマット

事業者・障害者の課題

紛失や個人情報の漏洩リスク

障害者の課題

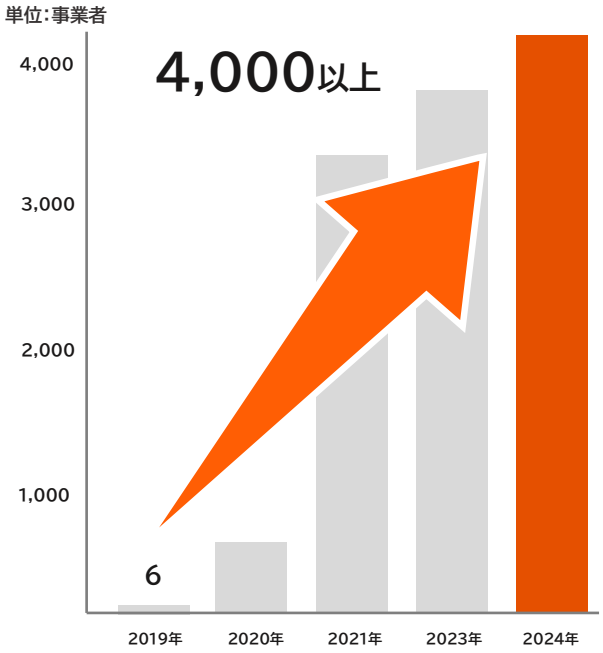
手帳提示による心理的負担

Copyright Mirairo Inc.

社会との連携により広がる共感の輪

マイナポータル連携により公的な信頼を得られたこと等がきっかけとなり、鉄道をはじめとする障害者割引を有する企業での導入が急拡大。継続的に官公庁とも連携し、アプリの認知を拡大。

▼導入事業者数の推移



▼ミライロIDのこれまでの歩み

18年7月	障害者手帳の電子化に向けた検討を開始
19年1月	国土交通省:交通事業者への現物確認不要の通知が発出
19年7月	ミライロIDのiOS、Android版を同日リリース
20年6月	内閣官房:マイナポータルとミライロIDが連携
20年6月	内閣官房:事業者へのミライロIDの導入推奨の通知が発出
20年10月	鉄道局:ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
21年3月	JR各社を含む全国鉄道会社123社がミライロIDを採用
21年4月	自動車局:ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
21年7月	障害者割引価格のオンラインチケットの提供を開始
21年7月	内閣官房:事業者へのオンライン予約の障害者対応を要請する通知が発出

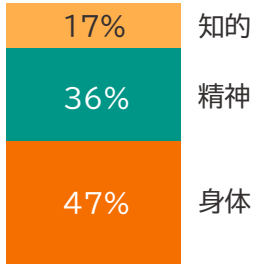
Copyright Mirairo Inc.

ミライロIDのユーザー数と特徴

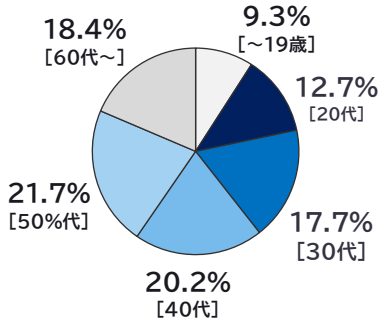
2025年にユーザー数は50万人を突破し、毎月約1万人のペースで増加を続ける。
アクティブな20～50代のユーザーが多い傾向にあり、外出頻度が高く、企業に務める障害者の割合も高い。

▼ユーザー数の推移

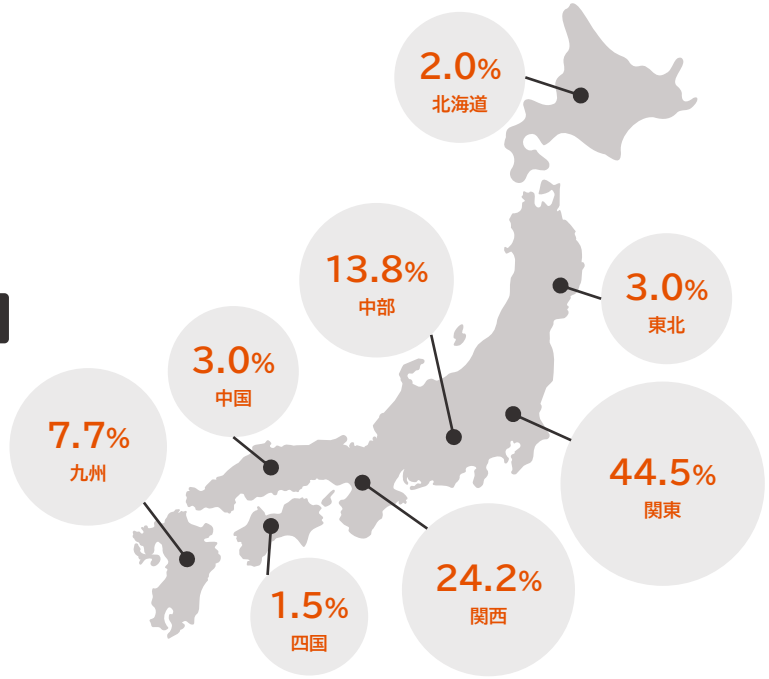
手帳種別



年齢



エリア分布



Copyright Mirairo Inc.

ミライロIDの3つの強み

類似アプリが存在しない大規模な障害者プラットフォーム

- マーケティング活用の広がり
- 先行した行政や企業との連携、特許による参入障壁の高さ

デジタル上のあらゆる障害者対応の必須ツール

- 障害者の本人認証の簡素化
- 障害者割引決済の円滑化

創業来培ってきた専門的ソリューションとの連動

- 専門的知見と当事者データに基づくコンサルティングやシステム開発

Copyright Mirairo Inc.

ミライロIDソリューションについて

デジタル障害者手帳「ミライロID」のプラットフォームやデータベースを基盤としたソリューションを提供。
アプリによる直接的サービス提供、システム連携によるサービス提供、データ等を基にしたコンサルティングを実施。

¥ 収益分類：①スポット収益（単発広告、調査データ納品等） ②リカーリング収益（クーポン利用料、システム連携料等） ③トランザクション収益（販売手数料等）

Copyright Mirairo Inc.

マーケティング支援の取り組み事例

1 株式会社ナイキジャパン
ユーザー限定の先行販売や
クーポン提供

2 株式会社日本HP
障害者手帳特別割引の適用

3 上新電機株式会社
家電購入のポイント還元や
クーポン提供

4 株式会社ファミリーマート
創立40周年に合わせた
クーポン提供

5 ロイヤルホールディングス株式会社
「ROYAL DELI」の
ミライロストアへの出品

6 株式会社ジンズ
ECサイトと店舗での
クーポン提供

多くの企業がDE&Iやサステナビリティも意識したマーケティングやブランディングへの取り組みを強化

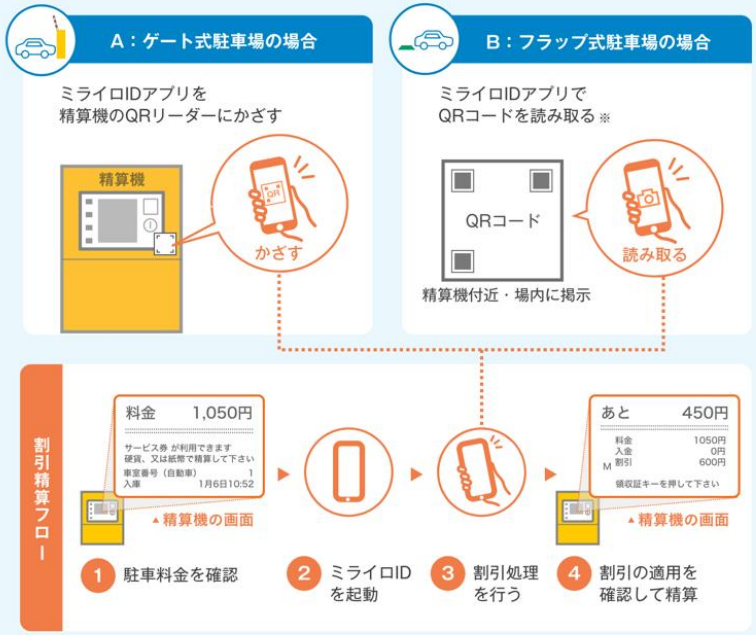
Copyright Mirairo Inc.

システムの連携及び開発の事例

AMANO アマノマネジメントサービス株式会社 × MIRAIRO ID

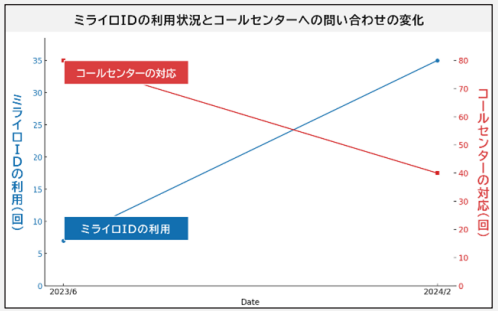
障害者手帳の情報を保有している利点を活かし、障害者割引に関する「決済」の円滑化を実現。
ミライロIDと精算機管理サーバーとの連携により、障害者手帳情報を自動適用し、割引料金での支払を可能に。

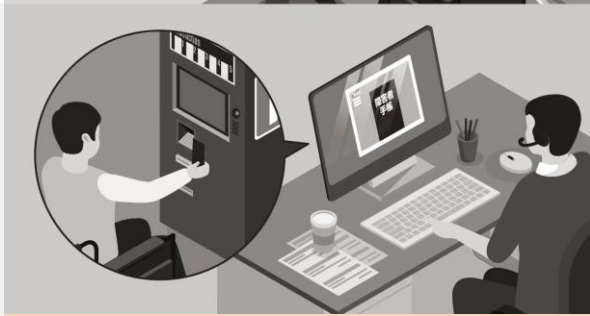
ミライロIDと駐車場精算機の連携イメージ

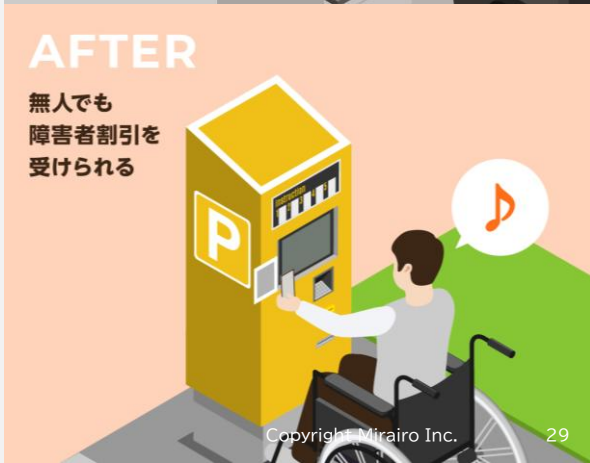


※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

- これまで目視確認や遠隔で確認をすることで起きていた不正利用の防止や対応時間の削減
- ミライロIDの利用増加に伴い、コールセンターへの問い合わせは50%減少
- 自治体からの希望する声も増加しており、他の駐車場管理事業者との連携も進行中







Copyright Mirairo Inc.

システムの連携及び開発の事例

アプリ間の連携により、障害者割引に対応したチケット購入などの決済における課題の解消、独自の割引適用によるマーケティングやブランディング活用、職場における障害者情報の管理の円滑化など、多岐にわたる活用事例を創出。

しこくスマートえきちゃん

- JR四国のチケットアプリ「しこくスマートえきちゃん（スマえき）」とミライロIDの連携を実現。
- アカウント連携をすることで、障害者割引を適用したきっぷの購入が可能に。

NEC

- デジタル社員証の社員情報とミライロIDの障害者情報の紐づけにより、働きやすい職場環境づくりを実現。
- 障害のある社員への福利厚生や職場での孤立化の防止につなげる取り組みへ。

Coke ON

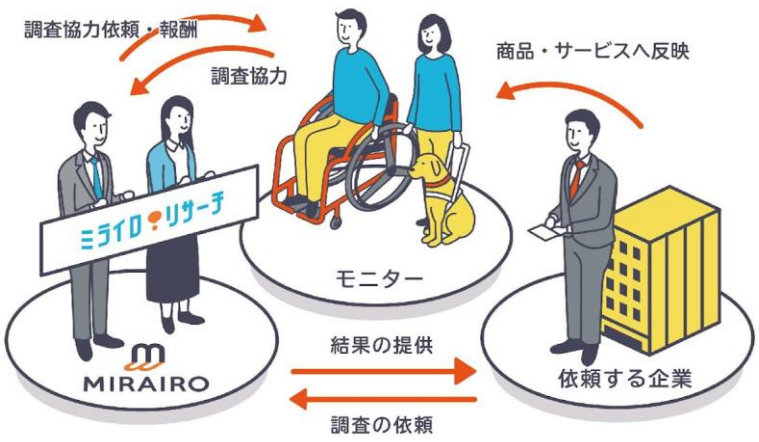
- 日本コカ・コーラが提供する公式アプリ「Coke ON」とミライロIDの連携を実現。
- アカウント連携をすることで、「Coke ON 障がい者割引」の適用が可能に。

Copyright Mirairo Inc.

リサーチ及びコンサルティング

ミライロIDの障害者ネットワークを活かしたリサーチ及びコンサルティングを提供。
製品やサービスの開発、市場調査など、目的や規模感に応じた様々な調査が可能。

▼サービスイメージ



在籍モニター例

肢体不自由
- 程度（下肢障害、上肢障害など）
- 状況（等級・先天性／後天性など）
- 補助器具（手動／電動車いす・装具など）

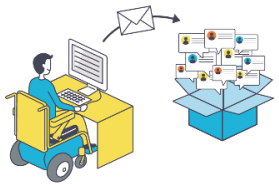
視覚障害
- 程度（全盲・弱視など）
- 状況（等級・先天性／後天性など）
- 補助器具（白杖、単眼鏡、盲導犬など）
- 利用機器（iPhone ／ Android など）

聴覚障害
- 程度（全ろう・難聴など）
- 状況（等級・先天性／後天性など）
- 補助器具（補聴器、聴導犬など）
- 手段（手話、口話、筆談など）

▼リサーチ手法

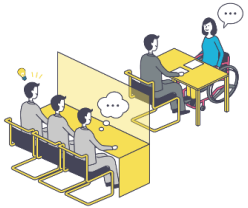
定量調査（Webアンケート）

数値や量で表せるデータを集計して分析する方法



定性調査（インタビュー・ワークショップ等）

言動などの質的データを集計して分析する方法



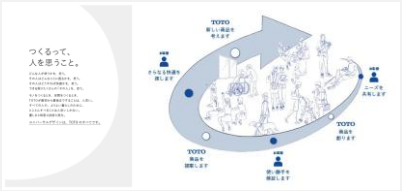
障害者の声を企業や社会へ届けると同時に、障害者の社会参画に貢献

Copyright Mirairo Inc.

リサーチ及びコンサルティングの取り組み事例

1 株式会社ローソン銀行
ATMの新型機を開発

2 ロート製薬株式会社
製品のユーザビリティ改善を実現



3 TOTO株式会社
新しいUDコンセプトを開発

4 株式会社ナイガイ
くつした開発のイノベーションを実現

5 コクヨ株式会社
ダイバーシティオフィスの開発を実現

6 野村不動産株式会社
施設のユニバーサルデザインガイドを策定

ニーズが反映されてこなかった人々も巻き込んだ製品開発や施設づくり

Copyright Mirairo Inc.

ユニバーサルマナー研修及び検定について

障害のある当事者の視点から、障害者など多様な方々に対する理解促進や対応方法のレクチャーを実施。
法律や当事者心理の理解による接客時や職場のリスク軽減に加えて、資格を企業姿勢の発信としても活用が可能。
プログラムや講師への高い満足度により、検定売上の6割が定期発注(過去2事業年度以内の継続発注)によるリピート売上。

(一社)日本ユニバーサルマナー協会	ミライロ	ソリューション	顧客
ユニバーサルマナー検定 累計認定者数 約30万人 (25年6月時点)	障害のある 当事者講師 約20名 (25年6月時点) ・車いす使用者 ・全盲 ・弱視 ・人工内耳装着者等	ユニバーサルマナー検定 検定プログラムの提供	主要な個人顧客 ・DE&IやCS推進担当等企業従事者等 ・接客業を目指す学生等 ・親の介護者や子育て層
資格認定 → ← 認定の委託等	¥ 収益 ←		
	¥ 収益 ←	検定やオリジナルプログラムの提供	主要な法人顧客 西武鉄道 / MARUI GROUP / ヤマト運輸
	¥ 収益 ←	講演・研修・サービス提供等 講師の派遣、研修の作成等	主要な顧客 品川女子学院 SHINAGAWA JOSHI GAKUIN MS&AD あいおいニッセイ同和損保

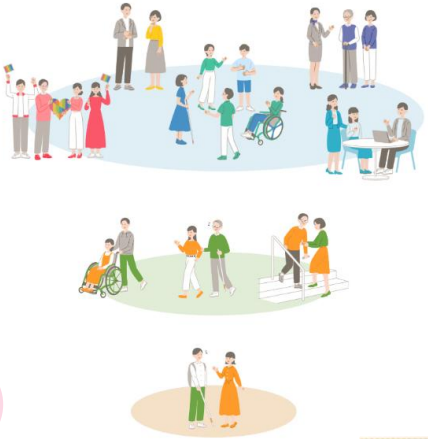
¥ 収益分類:①スポット収益(単発講演、プログラム開発費等) ②定期発注型収益(新入社員や新入生、管理職向けの検定等)

Copyright Mirairo Inc.

ユニバーサルマナー検定について

障害理解の促進と行動変容を促すプログラム

- 「ユニバーサルマナー」とは、多様な方々へ向き合うためのマインドとアクションのことを指す当社が作成した造語
- 「ハードを変えることができなくても、ハートは今すぐ変えられる。」というコンセプトを軸に、障害者や高齢者など、多様な顧客や従業員との向き合い方を伝えるプログラムを展開
- 検定プログラムは、3級～1級のカリキュラムに加えて、業界や職種に合わせたオリジナルのプログラム作成も実施



満足度 98% ※

認定者数 30万人
（25年6月時点）

導入企業数 1,000社
（25年6月時点）

ユニバーサルマナー検定３級の概要

ユニバーサルマナーとは／人と人の違い／障害の社会モデル／障害者や高齢者の生活・心理／基本姿勢

課題を解決するには自身の側に変化が必要なことに気づく

障害のある当事者から多様な人々との向き合い方を学ぶ

一歩踏み出すことの不安を取り除き心のブレーキを外す

違いの理解が進み、高い確率で行動変容が起きる

目的	社内の意識醸成と行動変容
時間	1.5時間
形式	eラーニング／オンライン／対面
講師	障害のある当事者講師
対象	すべての方（役員／管理職／従業員）
費用	受講料：5,000円（税別）/1人 運営管理費：5,000円（税別）/1回

※ 個人向けユニバーサルマナー検定の受講者約5,500名（2023年10月～2024年6月受講者）に対する当社アンケートにおける満足度の回答結果

Copyright Mirairo Inc.

ユニバーサルマナー検定の導入企業 ※2025年6月時点

銀行
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社三井住友銀行
株式会社みずほ銀行
株式会社りそなHD
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ

自動車
トヨタ自動車株式会社
三菱自動車株式会社
日野自動車株式会社
ダイハツ工業株式会社
株式会社ブリヂストン

百貨店
株式会社三越伊勢丹HD
株式会社高島屋
株式会社大丸松坂屋百貨店
株式会社阪急阪神百貨店
株式会社丸井グループ

メーカー
花王株式会社
コクヨ株式会社
株式会社ワコール
株式会社マンダム
ソニーマーケティング株式会社

生命保険
第一生命保険株式会社
日本生命保険相互会社
明治安田生命保険相互会社
住友生命保険相互会社
大同生命保険株式会社

鉄道
西武鉄道株式会社
京王電鉄株式会社
大阪市高速電気軌道株式会社
阪急電鉄株式会社
京阪電気鉄道株式会社

コンビニ
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
株式会社ローソン
株式会社ファミリーマート

製薬・薬局
塩野義製薬株式会社
ウエルシア薬局株式会社
株式会社コクミン
株式会社メディカルシステムネットワーク

損害保険
東京海上日動火災保険株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
SOMPOホールディングス株式会社
アクサ損害保険株式会社

不動産・住宅
三井不動産株式会社
三菱地所株式会社
東急不動産株式会社
大和ハウス工業株式会社
住友林業株式会社

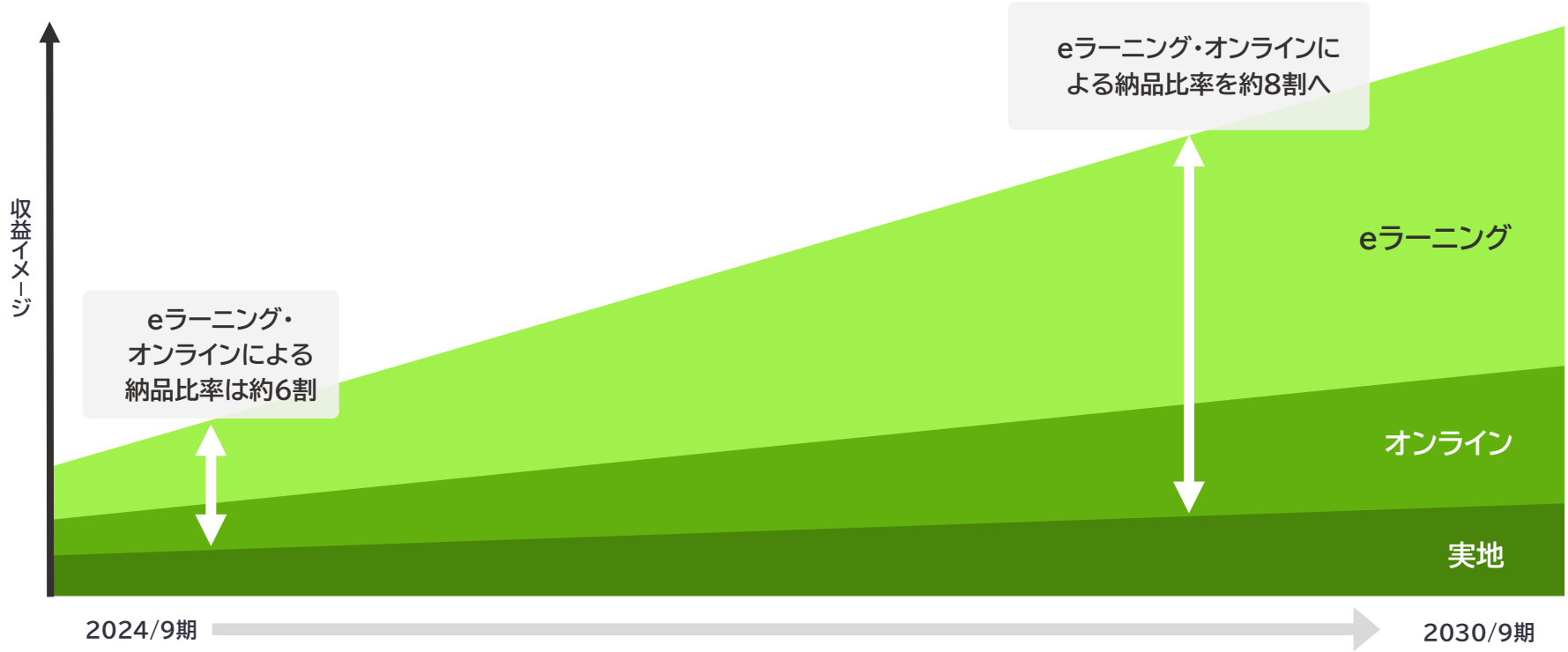
飲料・食品
アサヒビールHD株式会社
サッポロHD株式会社
森永乳業株式会社
ロイヤルHD株式会社
株式会社モスフードサービス

その他
株式会社ファーストリテイリング
株式会社ダスキン
セコム株式会社
ヤマト運輸株式会社
鴻池運輸株式会社

Copyright Mirairo Inc.

ユニバーサルマナー検定の提供形式別の売上割合

eラーニングとオンラインを合わせた売上比率が24/9期は6割を超える。階層や職種に合わせ、提供形式を柔軟に対応しつつ、
中長期的にはシステムによる納品比率の増加により、さらなる利益率の向上を目指す。



Copyright Mirairo Inc.

ユニバーサルマナー研修及び検定の取組事例

1 住友林業株式会社
全社員でユニバーサルマナー検定を取得

2 ヤマト運輸株式会社
グループ独自のオリジナル検定を共同開発

3 西武鉄道株式会社
鉄道事業者向けのオリジナル検定を共同開発

4 株式会社東京ドームホテル
全スタッフの意識改革を実現

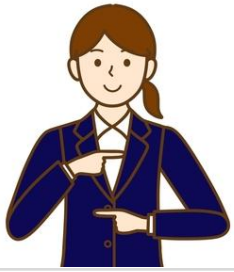
ユニバーサルマナーを通じて、多様性理解と行動変容を起こす

Copyright Mirairo Inc.

コミュニケーションサポートについて

聴覚・言語障害者の方々が社会参加しやすいように、手話や文字通訳等の情報保障サービスを提供。
システムを用いた遠隔での通訳対応に加えて、イベント、会議、研修など、様々な場面への通訳者の派遣も実施。

手話・文字通訳者	ミライロ	ソリューション	顧客
手話通訳者 文字通訳者など	ブース対応等 → ¥ 給与・報酬 通訳対応等 → ¥ 給与・報酬	登録通訳者 約150名 （2025年6月時点） ・手話通訳士（資格保有） ・手話通訳者（実務経験3年以上等） ・パソコン要約筆記経験者等 MIRAIRO connect	¥ 収益	遠隔での情報保障サービス 遠隔でのリレーサービス等	主要な顧客 日本生命 / NIPPON EXPRESS / KONICA MINOLTA
			¥ 収益	職場、イベント等の情報保障 情報保障のコーディネート	主要な顧客 MUFG / JTB / Panasonic INDUSTRY
			¥ 収益	講座及びコンサルティング 手話講座や専門的知見の提供	主要な顧客 U-CAN 生涯学習のユーキャン / SEKISUI HOUSE / LAWSON



¥ 収益分類：①スポット収益（単発の通訳者派遣、初期費用等） ②リカーリング収益（サービス利用料等） ③トランザクション収益（従量課金等）

Copyright Mirairo Inc.

情報保障の提供

聴覚障害者の53%が企業の情報保障に不満を持っており※、手話や文字による情報保障を提供することで、
聴覚障害者の希望と企業対応におけるギャップを解消し、希望に沿った情報保障を提供することが求められる。

● 聴覚障害者の希望する情報保障と企業対応のギャップ

コミュニケーション手段	聴覚障害者の希望	企業の対応
手話通訳	59.3%	27.2%
自動音声認識システム	59.3%	39.5%
文字通訳	39.5%	8.6%
筆談	39.5%	56.8%
口話	23.5%	49.4%

cf.ミライロ「聴覚障害者の職場環境に関するWebアンケート調査結果」令和3年

内容

手話・文字通訳派遣
（導入例）
会議/研修/面接/イベント等

手話リレーサービス
（導入例）
金融機関のコールセンター等

遠隔手話通訳
（導入例）
行政窓口/医療機関等

動画字幕や手話挿入
（導入例）
研修動画/サービス紹介動画等

ツールの導入
（導入例）
社内会議/研修/イベント

要件

目的	聴覚障害者とのコミュニケーション支援
通訳	手話／文字
形式	現地／オンライン
担当	手話通訳者／文字通訳者
備考	音声文字化アプリ等のツール導入支援も可

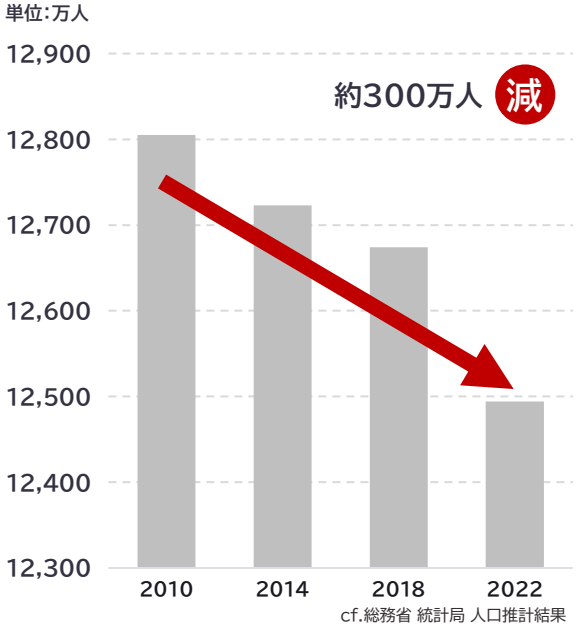
※当社が実施した「令和3年 聴覚障害者の職場環境に関するWebアンケート調査結果」における現状の職場の情報保障に関する満足度の回答結果

Copyright Mirairo Inc.

国内における総人口と障害者人口の推移

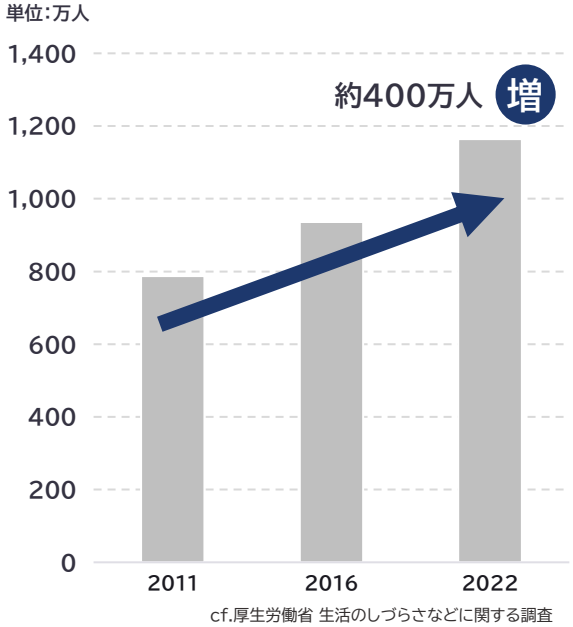
急速に人口減少が進む一方、障害者の人口は増加。法定雇用率の引き上げによって、雇用されている障害者数も右肩上がりに伸び続けている。法定雇用率が26年から2.7%に引き上げられるため、外出や消費意欲の高いアクティブな障害者がこれまで以上に増えていくことが見込まれる。

●総人口の推移



cf.総務省 統計局 人口推計結果

●障害者人口の推移



cf.厚生労働省 生活のしづらさなどに関する調査

●雇用されている障害者数の推移

cf.厚生労働省 障害者雇用状況の集計結果

Copyright Mirairo Inc.

企業を取り巻く状況

企業価値の向上

サステナビリティ活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs

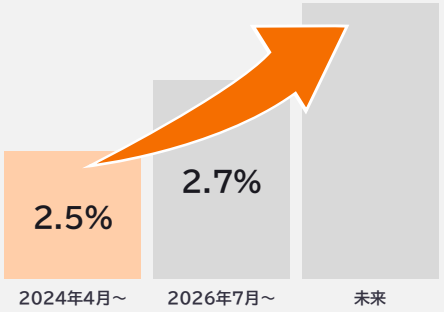
コンプライアンス

適切な合理的配慮の提供

	改正前	改正後
差別の禁止	法的義務	法的義務
合理的配慮	努力義務	法的義務

障害者差別解消法

障害者法定雇用率の達成



障害者雇用促進法

障害者を対象とした取り組みは、コンプライアンスの観点からも重要性が増している

Copyright Mirairo Inc.

改正障害者差別解消法の施行

2016年4月	2021年5月	2024年4月
障害者差別解消法 施行	改正障害者差別解消法 成立	改正障害者差別解消法 施行
障害者への差別解消を推進することを明文化	合理的配慮の提供を努力義務から法的義務へ	法的義務に準拠した体制構築が求められる

法施行3年後の見直しに際して、当事者団体や国連は「事業者による合理的配慮の明文化」を要請。
障害者の社会参画を保障すべく、法改正が行われ、事業者においても合理的配慮の提供が義務化。

民間事業者において、合理的配慮の提供が努力義務から法的義務へ

Copyright Mirairo Inc.

過重な負担を軽減するミライロIDソリューションの可能性

ミライロIDを活かしたソリューション開発により、多様な障害者対応に関する負担やコストの削減が可能。
過重な負担がかからず、法的義務として合理的配慮の対応が必要な領域が拡大していく可能性がある。

事前的改善措置や合理的配慮の対象

ex）
移動の介助を求められたら
座席までのご案内をする等

ミライロID（DX化）による範囲の拡大

ex）
低コストで導入可能な
障害者の認証や決済

過重な負担がかかるためこれまでは合理的配慮の法的対象外であったこと

ex）
障害者割引料金の
オンライン決済対応

Copyright Mirairo Inc.

障害者対応に関する新たな市場形成

法改正の認知拡大やDX推進後に推計される新たな障害者対応に関する市場は約3,150億円。
創業から10年で築いた専門的ソリューションと、唯一無二の障害者プラットフォームを組み合わせ、成長機会に繋げていく。

※1 従業員300名以上の法人数19,284社（令和3年 経済センサス-活動調査）、地方自治1,741（地方公共団体情報システム機構）、都道府県47、大学・短期大学1,110（文部科学省 令和6年度学校基本調査）の総数を対象としております。
※2 障害者対応状況を可視化する「ミライロ・サーベイ」の実施企業のうち、従業員300名以上の大企業73社において、診断結果で課題があった点に対する必要な取り組みにおける合計金額を個社ごとに算出し、その平均金額を記載しております。
※3 従業員50名以上の法人数124,498社（令和3年 経済センサス-活動調査）、地方自治1,741（地方公共団体情報システム機構）、都道府県47、大学・短期大学1,110（文部科学省 令和6年度学校基本調査）の総数を対象としております。
※4 障害者対応状況を可視化する「ミライロ・サーベイ」の実施企業（中小企業含む）である約190社において、診断結果で課題があった点に対する必要な取り組みにおける合計金額を個社ごとに算出し、その平均金額を記載しております。

Copyright Mirairo Inc.

従業員教育・DEIの風土形成における市場性

障害者対応に関する市場の中で、従業員教育や風土形成の市場だけを見ても、必要に迫られている事業者に勤める従業員や職員のうち、ユニバーサルマナー検定の認定者は1%程度に留まっており、成長余地は大きい。

● 新たな障害者対応市場

法改正の認知拡大やDX推進後の段階　**約3,150億円**

- **従業員教育・DEIの風土形成**
- 手話や文字等の情報保障対応
- 障害者向けのマーケティング
- 施設における環境整備
- WEBやアプリ等のアクセシビリティ対応
- 障害者に関する認証及び決済

ユニバーサルマナー検定 累計認定者数

約30万人（1%程度）

※2025年6月時点

法的対応が強く要請される事業者の従業員や職員数

約2,740万人

大企業の従業員数	官公庁の職員数
約2,404万人 ※1	約339万人 ※2

※1「令和3年経済センサス-活動調査」における従業者300人以上の事業者における従業者数
※2 人事院「令和6年度 国家公務員の数と種類」における国家公務員と地方公務員の総数

Copyright Mirairo Inc.

ミライロIDの成長ポテンシャル

世界の障害者
10億人以上※3

国内の障害者
1,164万人※2

内）手帳所持者
610万人※2

内）ミライロID内の
手帳登録者
38万人※1
（手帳所持者の内 約6%）

障害者手帳所持者の内、ミライロID内の手帳登録者は約5%
アクティブな障害者やその家族を中心に、今後さらなる利用が見込まれる

※1 手帳登録者数は、2025年6月時点におけるミライロIDユーザーのうち、障害者手帳の有効期限切れなどの不備がなく障害者手帳情報を登録している人数です。
※2 厚生労働省「令和4年生活のしづらさなどに関する調査」
※3 世界保健機関「World report on disability」

Copyright Mirairo Inc.

ステージ別の顧客イメージとミライロIDソリューションの成長ポテンシャル

現在 24/9期 実績

顧客数		1社あたり取引額		ミライロIDソリューション
192社	×	上位5社：11百万円 平均　：1百万円	＝	売上：238百万円

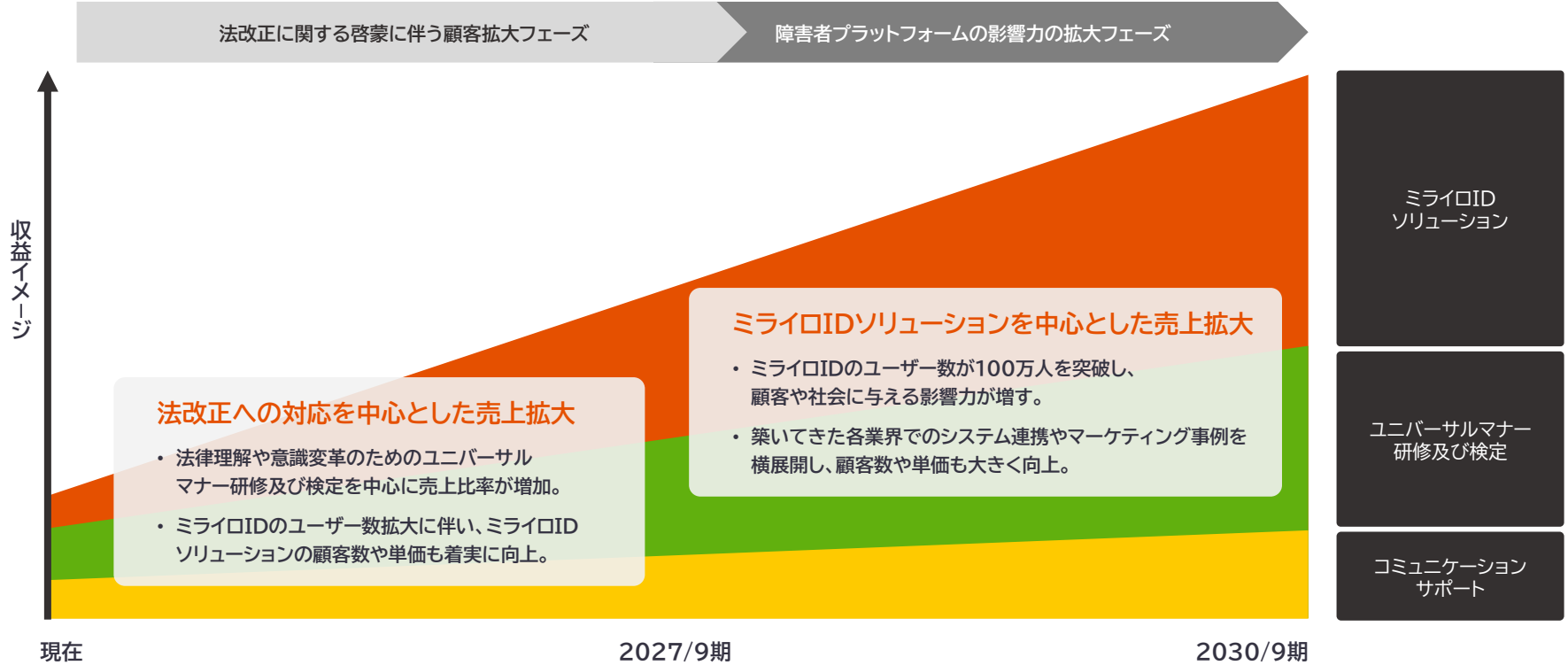
意識変化やプラットフォームの拡大に伴い、顧客数の増加や複合的なソリューション利用による単価の向上など、成長余地は大きい。

ステージ別の顧客イメージ	A1層「法令遵守」	A2層「想い・考えに共感」	A3層「社会性と経済性を両立」
	業界標準に合わせて最低限の取り組みは実施 ・障害者差別解消法への対応や法定雇用率の達成をしないといけない。 ・障害者からのクレームを受けてしまった。 ・他企業と同水準の取り組みは行いたい。	目指す考えに共感し、段階的に取り組みを推進 ・ミライロIDを認知し、障害者やその家族などの多様な人々も重要な顧客や従業員と考え、発信を行っている。 ・CSRとしてではなく、ビジネスとして出来るところから取り組んでいる。	社会性と経済性が両立し、継続的な取り組みを実施 ・業界内でも先進的な取り組み（ミライロID連携等）を進め、積極的に発信や投資をしている。 ・障害者雇用における戦力化に成功し、独自のモデルを形成している。 ・専属の担当部門が配置されており、継続的に取り組んでいる。
ソリューション	リサーチ及びコンサルティング	システムの連携及び開発 マーケティング支援	リサーチ及びコンサルティング システムの連携及び開発 マーケティング支援

Copyright Mirairo Inc.

中長期の成長イメージ

収益性の高いミライロIDソリューションとユニバーサルマナー研修及び検定を中心に売上割合が増加。
プラットフォームやシステムを軸とした収益向上を目指すことで、高い限界利益率を実現。



Copyright Mirairo Inc.

バリアバリューが広がる未来に向けて

ユニバーサルマナー検定

認定者数1,000万人

ミライロID

グローバル展開

Copyright Mirairo Inc.

MIRAIRO

大阪本社…大阪市淀川区西中島三丁目8番15号
東京支社…東京都品川区東五反田五丁目26番5号

株式会社ミライロでは「障害者」と表記しています。「障がい者」と表記すると、視覚障害のある方が利用する
スクリーン・リーダー（コンピュータの画面読み上げソフトウェア）では「さわりがいしゃ」と読み上げられてしまう場合があるためです。
「障害は人ではなく環境にある」という考えのもと、表記のみにとらわれず、社会における「障害」と向き合っていくことを目指します。

Copyright Mirairo Inc.